

## 中医協「第5回 費用対効果評価専門部会」 日本版 QOL 評価尺度を

2012.11.01

費用対効果評価専門部会（部会長：関原健夫・公益財団法人日本対がん協会常務理事）は10月31日、これまでの議論を整理するとともに、QOL（Quality of Life：生活の質）評価に関する具体的方法等の取り扱いについて議論を行った。

事務局は前回までの議論の内容を整理するとともに、福田敬参考人（国立保健医療科学院上席主任研究官）から「QOL 評価の具体的方法等」及び「イギリスにおける費用対効果等の評価プロセス」に関する資料が提出された。

「QOL 評価の具体的方法等」では、包括的尺度「EQ-5D」を中心に説明がなされた。「EQ-5D」は移動の程度など5項目から評価を行い、イギリスをはじめとした諸外国で使用されている。一方、「イギリスにおける費用対効果等の評価プロセス」では、医療技術評価に関する目的やプロセスなどについて、説明が行われた。

これらを受け、前回の QALY における議論同様、委員からは慎重な意見が多く出た。嘉山孝正委員（全国医学部長病院長会議相談役）は、「EQ-5D は、客観的評価でないため、評価にバラつきが出ることになる」と発言。鈴木邦彦委員（日本医師会常任理事）は、「実証データでない EQ-5D が入ってきたことに違和感を覚える。慎重に議論を進めるべき」と述べた。

また、安達秀樹委員（京都府医師会副会長）は、「QALY もそうだが、様々な角度から慎重に議論を積み重ね、QOL に関する評価尺度も日本独自のものを考えるべきでは」と主張。この意見に対し、多くの委員から賛同が得られた。

上記の意見を参考に事務局で内容を再整理し、今後さらなる議論を進めていく予定。

次回の費用対効果評価専門部会の開催は未定。

### ■ 「脳梗塞発症後 4.5 時間以内の患者」、超急性期脳卒中加算の対象に

この日行われた第 232 回総会（会長：森田朗・学習院大学法学部教授）では、アルテプラゼ（rt-PA）の投与開始時間の変更に伴い、「超急性期脳卒中加算」の対象患者も「脳梗塞発症後 3 時間以内の患者」から「脳梗塞発症後 4.5 時間以内の患者」に変更することが了承され、今後、告示が改正される。この変更に関し、嘉山委員は、「恩恵を受けられる患者が増えるため、日本脳卒中学会に関わる身として歓迎する」と述べた。

また、前回の参考意見を踏まえ（12.10.3「中医協第 161 回 診療報酬基本問題小委員会」[http://www.medical-lead.co.jp/documents/121003tyuikyoku\\_001.pdf](http://www.medical-lead.co.jp/documents/121003tyuikyoku_001.pdf) 参照）、医療機関等の指導・監査状況等が分かる資料が、事務局より提出された。これに関し、多くの委員から「患者のためにも、悪質なケースは、刑事告発を含め徹底的に糾弾すべき」との意見が出された。

加えて、DPC 退出審査会による審査の結果、株式会社日立製作所多賀総合病院が、医師の退職により急性期入院医療を実施できず、2013 年 3 月 1 日付で DPC 制度を退出することが公表された。

次回の総会は、11 月中旬に開催予定。

## ■長期収載品の薬価、中間取りまとめに向けて議論

同日開催された第 83 回薬価専門部会（部会長：西村万里子・明治学院大学法学部教授）では、長期収載品の薬価の在り方等について検討を行った。

事務局が検討項目に挙げたのは、①後発医薬品と先発医薬品の薬価差、②長期収載品（先発医薬品）の薬価、③後発医薬品の置き換え——の 3 点。いずれも 2012 年 12 月に実施予定の中間取りまとめに向けて、検討していく予定。

①については、②、③同様、これまでに 1 号側（支払側）、2 号側（診療側）、参考人から発言がなされている。それらを踏まえ今後は、「薬価差が生じるのはやむを得ない」という方向性で議論を進めていくことを確認した。

②では、白川修二委員（健康保険組合連合会専務理事）や万代恭嗣委員（日本病院会常任理事）から、「今後、長期収載品の薬価は下げざるを得ない。ただ、一概に同価格を引き下げのではなく、状況に合わせて引き下げ幅を決めるべき」という意見が出された。これらの意見を踏まえ、今後さらなる議論を進める予定。

③においては、白川委員が、「後発医薬品置き換えが可能なものの中で、後発医薬品の数量シェアをどれくらいにするか議論すべき。現在は後発医薬品置き換え不可のものも含めて数量シェアを計算しているので、正確な数字がつかめない」と指摘した。この意見などを参考に、次回以降も議論を続けていく予定。

次回の薬価専門部会は、11 月中旬に開催予定。